

令和7年度第1回かすみがうら市上下水道運営審議会会議録

1. 日 時 令和8年2月24日 火曜日 14:00
2. 場 所 千代田庁舎 2階 第一会議室
3. 出席者 審議会委員 10名 (※別紙委員名簿参照)
都市建設部 上下水道課 (事務局)
4. 傍聴者 0名

会 議 内 容	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 委員照会 3. 委嘱状交付 4. 市長挨拶 5. 会長及び副会長選出 6. 諮 問 7. 議 事 ・下水道料金の改定について 8. そ の 他 9. 閉 会 	
議事内容 ・下水道料金の改定について	
事務局 須永会長	<p><資料に沿って本市下水道事業の現状と今後の見通しを説明></p> <p>ご説明ありがとうございました。以後、議事進行して参りますが、議事進行に当たりましては、鈴木副会長とともに進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。それでは、ただいま事務局よりご説明いただきました内容につきまして、グラフや数字が多い内容で、なかなかとつきにくいところもあるかと思ひます。どんなことでも結構でございます。ご質問ですとかご意見等ございますか。よろしくお願いたします。</p>
委員 須永会長	<p>水道料金が未納な方はどのぐらいいるのでしょうか。</p> <p>非常に大事な根底のご質問かと思ひますが、事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>下水道事業、水道事業ともにですけれども、収納率というものがございまして、こちらは98%を毎年達成しております。下水道事業は、大体調定件数が15万件なので、未納の方は、3,000件ぐらいに落ち着くような数字になります。</p>
須永会長	<p>ご回答いただきましたが、よろしいですか。</p>
委員	<p>はい、わかりました。</p>
須永会長	<p>では、他に何かあればお願いたします。</p>
委員	<p>下水道の受益地内の接続率はどのくらいですか。</p>
事務局	<p>下水道の接続率は、令和6年度で93.9%になります。</p>
委員	<p>そうすると、そんなに未接続の方はいらっしやらないってことなのですかね。</p>

事務局	<p>そうすると、増やそうとしてもそんなには増えないっていうことでよろしいですかね。あともう1つなのですけども、8ページの他会計の補助金の推移があるんですけども、収益的収支の中で、通常繰り出してもやむを得ないものと、望ましくないものがあると思うんですけど、その割合はどのぐらいですか。</p> <p>約8億9,000万円、令和6年度はもらっておりますが、令和6年度の決算ですと、約3億5,000万円が、一般会計から税金を投入して基準としてもらってよいというような金額として報告しております。ですから、令和6年度で見ると、残りの5億5,000万円ぐらいは繰り出さなくてもよい。</p>
委員 事務局 須永会長	<p>本来であれば、繰り出さなくてもよいということ。</p> <p>はい、収入で賄えなくてはならないものです。</p> <p>ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございますか。私の方から確認というか、その間に皆さんの方でお考えいただければと思うのですが、今回のご説明していただいた内容で言うと、今まで非常に上下水道の整備というのを精力的にやっけてこられていて、ただやっぱり、採算、収支ということを考えてときに、かなり厳しい場面になってきていらっしゃる。その1つは、収支のバランスを取るのに苦労してらっしゃるとい話と、もう1つは、今の料金の金額でこのままでいくと、国からの補助金をいただけなくなる懸念がある。この国からの補助金をいただけなくなることは、3億円ぐらいのインパクトがあって、この問題も乗っかってくるので、この2つをどうにかしたいというのが、基本的な取り組むべき課題という認識でとらえたのですが、そういう感じのとらえ方でよろしゅうございますか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。国の補助金の制限を今年度は受けておまして、まずは補助金ですが、これから農業集落排水の統廃合とか、あとは調整池の整備とか、そういったところに補助金がもらえるのですが、補助金の制限を受けると、例えば調整池などの4億円とかの事業になってくると、6,000万円とか7,000万円とか、本来もらえるものがもらえないような状況で、それを一般の方々の税金で賄わなくちゃならない状況になっているというところなんです。一般の方々は公共料金は安いにこしたことはないと思うのですが、そういった見えないところで制限を受けると、結局、回り回って、皆さんの税金でそこを穴埋めしなくちゃならないというような、現状になっているというのが正直なところなんです。それで、一番問題なのはやはり人口減少です。どこでもそうなのですが、全国的に人口減少で、うちの市は水道もそうなのですが、下水道に関しては400万円から500万円、毎年収入が目減りしているというところですが、いろんな維持管理費とかそういったものは、物価高騰とかで上がっており、なかなか黒字になっていかない。ですので、皆さんの税金を補助金として入れてもらっているのを維持できておりますというような経営状況になっています。</p>
須永会長	<p>ありがとうございます。現状のバランスに加えて、将来さらに厳しくなっていく見通しがあるというのも今のご説明の中であつたと思うので、今ここで出てきた課題は今のタイミングで解決しておくというのが、市全体のことを考えたときには、ふさわしい、望ましい姿なのだろうなということで、諮問の方いただいたというふうに考え</p>

鈴木副会長	<p>ております。そういった全体像を見ていただきつつですけれども、資料の中でかなり細かいところを含めているんなものが出てきています。ちょっとこの意味がわからなかったよというところも含めて、どんなことでも結構なので、ご質問ですとかご意見ありましたらちょうだいできればと思います。いかがでしょう。</p> <p>ちょっと資料について聞きたいことがあります。まず 12 ページのところになります。ストックマネジメントの話なのですが、令和 2 年度に見直しを行っているということで、実はそのあとに、少なくとも令和 5、6、7、というところで、八潮市の件があったり、北陸地方の件があったり、国の国交省は、更新率を上げろとか、耐震化を進めろとか、そういうのが出て来ているのですね。それらを補助対象にしますよという話があったときに、現状の計画、建設改良の中に、そこが一部入っているかとか、ストックマネジメントの後なので、その業者に、次のストックマネジメントは多分令和 9 年度、見直しだと思うのですが、その隙間があるので、そういった耐震化とかそういうものが、建設の投資計画ですね、四条の資本的支出に入ってくるかとか。それと、同じページの 4 番目、農業集落排水から 2 地区については、公共に接続と、これは茨城県内でどんどん進めているんですよ。だから残りの 6 地区、それをいつのタイミングで実施されていくのか。今回、同じように投資計画の中に残り 6 地区についてどういうふうにしていくのか、例えば計画終わってから 10 年後やりますよとか教えていただければ、あと、もう 1 点だけなのですが 18 ページ、19 ページのところの企業債について、18 ページでは資本費平準化債を一般会計からの繰入を減らして、資本費平準化債を見込んでいますが、19 ページはそれを組み込んだ企業債残高になっているのかどうか。企業債残高の減りが、この中で減っていていいんですけども、資本費平準化債の活用というか、それも入っているかどうか、3 点になりましたけど、お願いします。</p>
事務局	<p>まず 1 つ目の質問ですが、修繕計画が盛り込まれているかというところですが、こちらは施設等と管路も含めてストックマネジメントの調査を行いました。人員がやはり当初の下水道担当者が少なく、実際に動けるのが 3 名、4 名程度でまわしているところです。いくら予算がついたところで、人も少ないところで、ある程度の事業費に抑えなくちゃならないということで、毎年約 1 億円程度のストックマネジメント、修繕に関連する費用を、この財政計画の中に盛り込んでおります。もう少しやりたいところではあるんですけども、その辺の人的なところと、あと費用のバランス、償還、借入のバランスも含めて、修繕計画については約 1 億円で計画しております。2 つ目の農業集落排水の残り 6 地区の統廃合ですが、これは残りが千代田地区と霞ヶ浦地区とありまして、まず、千代田地区の 3 地区があるのですが、そちらの方の基本計画の予算を計上しております。どこをどのように接続していくかとか、そういった計画を来年行いまして、令和 9 年度から、その 3 地区の統廃合の工事を進めていくというような内容で計上しております。それが大体、令和 10 年以内にその 3 地区を統廃合しまして、さらに、霞ヶ浦地区の残り 3 地区を、令和 17 年度以降に行っていくというような計画で、財政計画に盛り込んでいるところです。3 つ目の資本費</p>

<p>鈴木副会長 須永会長 委員</p>	<p>平準化債、こちらは資金調達の意味合いの借金ですけれども、借り入れを満額借り入れるということで、見込んでおります。償還金の返還額が減ってくるので、楽になるんじゃないかなというような見方がされると思うのですが、その分、借り入れの方も並行して減ってきました、資本費平準化債は、その借金を返すお金が減ると、借り入れできる額も減ってしまうので、償還金が減ったからといって楽になるということではないふうで、そこは資本費平準化債の償還金を見込んでおります。</p>
	<p>ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>他、いかがでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>14 ページのところで、未加入の件数はどのぐらいあるのかと、30 年度から補助金制度がありましたが、令和 3 年以降はだんだん減ってきています。未加入の件数とかがわかれば、それはどちらの方が多いとか、農村地区とか、加入関係、下水をつなげるのも大変かなと思うのでそちらの方をお伺いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>パーセントで言いますと、約 93%が加入されていて、残り 7%が加入されていない方、くみ取りだったり、浄化槽だったりという方がいらっしゃいます。毎年加入促進を行って戸別訪問しているのですが、どうしても高齢の方で今から下水道につなぐにはお金がかかるとか、あとはまだ浄化槽が使えるからつなぐ必要がないという人と、あとは、浄化槽を使った方が下水道の使用料に対して安いんじゃないかというような考えだったり、そういったところで、加入が進んでないような状況になっています。それなので、人口減少の方が減り幅も多く、加入者がなかなか増えてこないの、どうしても収入が厳しい状況になっている状況です。今のを人数にすると、その対象としている人数が約 3 万人、約 3 万人のうち約 2,000 人が繋いでない状況です。人数はかすみがうら市内にお住まいの人口ではなくて、下水道につなぐことができる区域にお住まいの方の人口が約 3 万人です。</p>
<p>委員</p>	<p>接続できない地域もあるということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね。最初から下水道の整備をしないエリアもあるので、そういったところは、もう浄化槽でやるしかないの、そこは含まれていないのです。</p>
<p>委員</p>	<p>農村地区は、離れた所もあったりするの、そちらの方で未加入というか、できないというふうな判断をしてよろしいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>農村地区とかは、農業集落排水という処理場が作ってあるエリアは、同じく下水道という形で使うことが出来ます。例えば、高倉地区とか、下佐谷地区とか、そちらの方は下水道が整備されてなくて、そういったところは皆さん浄化槽ということですので、下水道料金は発生しておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、わかりました。今の話を聞くと、下佐谷はすぐ近くなのにとかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>本来は、その計画上はそういったところの下水道を引く計画があるのですが、今こういう状況の中で、そこに設備投資をしちゃうと、もっと料金を上げなくちゃならないということと、果たして、浄化槽を使ってる方が全員下水道に接続してくれるかと言ったら、そこはなかなか費用対効果のところ、難しい状況なので、なかなか市では、下水道の整備が止まっており、逆に、県の方の施設の方に流すような方向にシフ</p>

委員	トしているような感じです。
須永会長	はい、ありがとうございます。
委員	他、いかがでしょうか。
事務局	資金繰り上はショートするような時期っていうのはないのですよね。
須永会長	大丈夫です。
事務局	他、いかがでしょうか。そろそろ出尽くしてきているかもしれませんが。
委員	逆に今の下水道料金とかは高いイメージとかはあったりしますか。グラフを見ると、下から県内で2番目ということで、安い団体なのですけど、気にされていたりするかなという。
須永会長	下水道、水道使用料と、同時になってしまうので、だから、やはり高くなってくるとやはり家計の方でも、ちょっと痛みがあるかなというのと、かすみがうら市は水が高いとかいう話をよく聞いていたので、水が高ければそれに対して、下水道も付き物ですからね。これはしょうがないかなと思いますけど、下水道の料金がどのくらい、今までの金額が150円って書いてありますけど、これからはどのくらいになるのかなと思ってちょっと心配をしております。
鈴木副会長	では、鈴木副会長の方から少しお話いただけるそうです。
須永会長	今、北陸地方でいろいろなことがあって、そちらで料金改定とか、業務をやったりする審議会に入って審議をやっています。その中で今、150円というのが、どうなのだと、この150円というレベルは、実は数十年前の全国の水道料金の平均の金額なのです。今、周りでは全部料金をどんどん値上げしているんですね。というのは、もう仕方ないと、これまでも物価の上昇があって、私の知る限り全国、北陸地方だったり東北地方、九州地方もやっていますけど、今平均で大体30%ぐらい上がっているんです。水道料金で。そこで、今下水道とかの話があって、今大体25%とかぐらいは、やっぱり上がっているのです。これらは、今までずっとかすみがうら市さんでは料金の改定をやっていないのです。他の団体でもやっていないのです。だから今、急にそれだけ上げないと、いろんなどころでなっている。そうすると、先ほどご質問のあった150円が、多分5年10年後には、今度は180円とか200円じゃないと国がお金を出しませんってなっちゃうのです。平均で見込みますので、だから、そういう意味で、今はとりあえず150円に下水道料金はしないと国がお金を出さない。だから、何とかそこに乗っけるようにしないといけないのかなと、委員の立場では思うのですけども、でも向こう5年10年たったときに、それがもう1つハードルが上がる可能性もあるんで、先ほど事務局に出していただいた改定率、あそこで何も無理やり150円にしていなかったのも、私は逆に安心しているんです。少し多めに見えていただいているので。ただ、それを今、とりあえずよしとしてやっても、いずれ、5年10年先にはもっと高いところに国の補助要件が出てきますということは、委員として頭の中に入れて、ここで審議していただいた方がいいかなということで、お伝えしておきます。
須永会長	大変貴重なご示唆だったと思います。今のその資料の話でいう150円も1つの基準ですけれども、これはあくまで今現状の話で、将来さらに変わってくるとなると、今

	<p> 変えること、変えてまた10年20年このまま行くっていうことではなくて、これから先は、定期的に見直していかないと社会情勢に合った形になってこないの、そこは割とこまめに見ていく必要がこれから先はあるんだろうなど。逆に言うと、今まで上げてこれなかったっていうのはすごく大きい経営努力を市の方でされていて、比較的同じ料金のままずっとこられたんだけど、さすがに限界がきているという部分もあり、今は社会がかなり動いてきているのでそういう意味では、これから先を細かく見直していくという、ちょっと場面を変える必要があるというのが今の状況なのかなというふうに今のお話を伺って感じたところです。他、ご意見いかがでしょうか。よろしゅうございますか。今日、お示しいただいているのは、今までこうなっていますよ、それからこれからこういうことになりそうですよという今、鈴木副会長さんを含めていろいろ情報をいただいたという状況だと思います。大事なのは、こういう状況、今までの状況、これからの状況を踏まえて、どれぐらいの金額に変えていくのかというのが一番大事な議論になると思います。その議論については、次回以降で具体的な案を事務局の方からお示しいただくことになるかと思うので、その場で議論させていただいて、かすみがうら市の中でどういう下水道の料金を定めていくのが今の時点で将来を考えて必要なのかということをご審議できればというふうに思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。それでは、特段ご意見ないようでしたら次の事項の方に参ります。では、最後に事務局の方からその他について何かございますでしょうか。 </p> <p> 事務局 貴重なご質問ありがとうございました。今回は下水道事業の課題等と経営の現状を説明させていただきました。今回を含めて、3回の開催を予定しております。第2回の審議会でございますが、4月中旬から下旬を予定しております、第3回を6月中に予定しているところでございます。決まり次第通知をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。また次回の審議内容につきましては、会長からありましたように、下水道使用料における具体的な改定の内容についてお諮りしたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。私の方からは以上となります。ありがとうございます。 </p> <p> 須永会長 では、今事務局の方からありました通り、次回につきましては4月の中旬から下旬を予定して、内容については下水道使用料における具体的な改定内容についてご審議をいただきます。 引き続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。 では本日の審議は以上でございます。 </p>
--	--